

第15回全日本学生剣道オープン大会 要 項 (案)

1. 日 時
1日目 令和 3 年12月11日 (土) 正午11時15分開式
2日目 令和 3 年12月12日 (日) 午前 9時開式
2. 場 所 エフピコアリーナふくやま (〒720-0823 広島県福山市千代田町1丁目1番2号)
3. 主 催 全日本学生剣道連盟
4. 後 援 スポーツ庁、一般財団法人全日本剣道連盟、公益財団法人日本武道館、
広島県、福山市、福山市教育委員会、毎日新聞社広島支局、
公益財団法人福山市スポーツ振興事業団、一般財団法人広島県剣道連盟、
全日本学連剣友会、中四学連剣友会
5. 主 管 中四国学生剣道連盟
6. 試 合 種 目
男子個人戦 弐段以下の部、参段以上の部
女子個人戦 弐段以下の部、参段以上の部
7. 試 合 方 法
予選リーグを行い、各リーグ1位により決勝トーナメントを行う。
1) 予選リーグ
 - ・男子4分三本勝負、女子4分三本勝負とし、勝敗の決しない場合には引き分けとする。
リーグは3名または4名リーグの総当たりとし、1名が決勝トーナメントへ進出する。
 - ・各リーグにおける順位決定は勝ち点(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)による。
勝ち点と同数の場合は取得本数により決する。
 - ・取得本数が同数の場合は、決勝トーナメント進出決定戦を行う。
 - ・決定戦は以下の方法によって行い、勝敗の決しない時は延長戦(一本勝負)を勝敗が決するまで行う。なお、延長戦は試合時間を区切らずに行う。
 - 2名の勝ち点・取得本数が同数の場合
 - ・3分一本勝負
 - 3名の勝ち点・取得本数が同数の場合
 - ・3分一本勝負
 - ・トーナメント戦(但し1名シード)
 - 4名の勝ち点・取得本数が同数の場合
 - ・3分一本勝負
 - ・トーナメント戦
- 2) 決勝トーナメント
 - ・試合は男子4分三本勝負、女子4分三本勝負とし、勝敗の決しないときは延長戦(一本勝負)を勝敗が決するまで行う。なお、延長戦は、3分×3回+5分の給水休憩をセットとして勝敗が決まらない限り繰り返す。

8. 試合規則
審判規則 全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則並びに本大会申し合わせ事項に準じて行う。また、全日本剣道連盟の「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」に準じて行う。
9. 審判員構成 全日本学生剣道連盟加盟大学卒業生を以て構成することを原則とする。
10. 出場資格 登録試合者は全日本学生剣道連盟加盟大学の学生で、各地域連盟に登録している者に限る。登録できる回数は4回までとし、以下の大学については次のとおりとする。
1) 6年制大学ならびに6年制学部学科の学生は6回まで
2) 5年制学部学科の学生は5回まで
3) 3年制短期大学ならびに3年制学部学科の学生は3回まで
4) 短期大学の学生は2回まで
但し、在学中に学生剣道大会以外の各職域大会に出場した者の出場は認めない。
11. 表彰
男子個人戦 弐段以下の部、参段以上の部 …… 優勝 準優勝 3位 (2名)
敢闘賞 (ベスト8・4名)
女子個人戦 弐段以下の部、参段以上の部 …… 優勝 準優勝 3位 (2名)
敢闘賞 (ベスト8・4名)

大会申し合せ事項

1. 登録について

- 1) 試合に出場する選手は指定された期日までに所属連盟に選手登録をしなければならない。
- 2) 不正登録により選手資格を得た者はこれを取り消す。

2. 名札について

大学名及び個人名を記入した名札を着用しない選手は出場できない。同じ大学に同姓者がいる場合は、苗字の右下に名前の1文字を入れること。なお、上記の該当する選手が発覚した場合は、不正用具使用者として扱い、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。

3. 竹刀に関して

- 1) 竹刀検査は、所定時間内に竹刀検査所において検査済みシールの貼付を受けること。
- 2) 竹刀検査は、別紙の「竹刀検査要領」に沿って実施する。男女共、大会前日（金曜日）及び1日目（土曜日）に竹刀検査所にて行うこと。但し、男子については、12日にも行います。
- 3) 竹刀は、柄に大学名・名前のみを明記したものとし、検査の対象は一人3本（二刀の場合、大小各3本）までとする。
- 4) 鐙は、皮革又は化学製品の円形のものとし、直径は9センチメートル以下とする。なお、鐙止めを必ず使用し、鐙を正しく所定の位置に固定すること。
- 5) 規格外竹刀の使用が発覚した場合は、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。
- 6) 竹刀検査所の受付時間は
12月10日（金）が15時30分～18時までとする。
12月11日（土）が9時30分～18時までとする。
12月12日（日）が8時00分～10時までとする（男子のみ）。

4. サポーターなどの使用について

- 1) サポーター等の使用は、医療上必要と認められる場合に限り、見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲において、これを認める。
- 2) 使用する者は、予め使用品をつけた状態で所定の許可証をタビ・サポーター等許可所に提示し許可を得ること。テーピングの使用については、許可証の提出は不要とする。なお、使用できるタビ・サポーターは布製のみ許可する。また、新たに必要になった場合は、当該試合場の審判主任の許可を得ること。
- 3) タビ・サポーター等を許可なく使用した場合は、不正用具使用者として扱い、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。
- 4) 許可証交付所開設期間は
12月10日（金）が15時30分～18時までとする。
12月11日（土）が9時30分～18時までとする。
12月12日（日）が8時00分～10時までとする（男子のみ）。

5. その他

- 1) 監督不在の場合や出場選手が3名以上の場合は、監督代理人を1名たてることができる。但し、監督代理人は事前に届けられた者とする。
- 2) 選手の付添いは、監督（または監督代理人）、主務とする。なお、複数試合場で同一大学の選手の試合が行われている場合の付き添いは、1試合場につき監督または主務の1名までとし、それ以外は事前に本部に届けられた監督代理人とする。
- 3) 面紐の長さは結び目から40センチメートル以下とし、違反者に対してはその場で切断する。面紐の結び目の位置は、目の後方の後頭部中央部分とし、大会中、結び目の位置が安全性に支障があると判断した場合は、締め直しをする。
- 4) 剣道着の袖の長さは、自然に構えた状態で、「肘」が完全に隠れて袖口から露出しないものとする。但し、袖が小手ぶとんにかからない程度とする。
- 5) 延長戦は1本勝負で、3分×3回+5分の給水休憩をセットとして勝敗が決まらない限り繰り返す。
- 6) 頭髪が長い場合は、髪を束ねて、背中を目印にかからないようにする。
- 7) ミサンガ、パワーバランスなどの剣道に必要なものはつけない。

大会注意事項

1. 開会式及び閉会式について
 - 1) 開会式及び閉会式について、今大会にてはおこなわないものとする。
 - 2) 1日目の女子参段以上の部、女子弐段以下の部、男子弐段以下の部の試合終了後、表彰式を行う。
2日目は男子参段以上の部の表彰式を行う。
 - 3) 表彰式終了後、記念撮影をしますので、本部席付近に集合して下さい。
2. 応援は座ったまま拍手でのみ行い、声援は禁止する。
3. 試合場内でのフラッシュ撮影等は禁止する。
4. 試合場へは、役員・監督・選手・主務等所定のIDカードをつけた者以外の入場を禁止する。
5. 指定された席以外のロビー・通路等での場所取りは一切禁止する。
6. 喫煙は、指定場所のみとする。館内は禁煙のため、外の喫煙所を使用すること。館内は火気厳禁。館内のコンセントの使用は一切禁止する。また、更衣室での飲食も禁止する。
(飲食が認められているのはロビー、観客席のみ)
7. ゴミは必ず分別して捨てること。弁当の空き箱はごみ箱に捨てず、必ず指定時間までに弁当引換所に持参すること。
8. 裸足・スリッパ等で館外を歩かないこと。違法駐車に対しても厳しく対処する。
9. メインアリーナ入口横の下駄箱使用を禁ずる。各自ビニール袋(代表者会議にて配付)を使用すること。
下駄箱及びスリッパは役員・審判員専用です。競技会場内は、土足エリアと土足禁止エリアがあるので学生は下駄袋を使用して土足禁止エリアを行き来して下さい。
10. 貴重品・手荷物等については各自責任をもって管理すること。大会開催中の盗難・紛失に関しては、当連盟は責任を負わない。
※過去の大会において盗難事件が発生しています。
11. 部旗は掲揚しないものとする。
12. 感染症対策のため、開会式・閉会式は行わないので、各カテゴリーに出場する時間(竹刀検査等も含め)に遅れないように競技会場に来場すること。また、試合が終了次第、帰路につくこと。公共交通機関や自動車及びバス等で大学にてまとまった行動が必要な場合は、この限りでは有りませんが、試合が無い者については観覧席で待機して下さい。

※大会要項・注意事項を遵守しない大学に対しては、厳正に対処する。

以上